

農協と組合員をつなぐ広報誌

なかしゅんぱ



美原社務所前にて美原権現祭が8月20日(月)開催されました。雲一つない快晴の中、法被とハチマキを身にまとった元気な子供たちはお神輿担ぎ! ステージでは勇壮な太鼓や華麗な踊りを披露。美味しい焼肉に舌づつみをうちながら、短い夏のひと時を賑やかに家族、仲間たちと楽しみました。


JA中春別

9月号

2018 Vol. 488

となり近所も遠くの人も 踊ればみんなの気持ちはひとつ

豊原仮装盆踊りは予定の8月16日(木)が悪天候のため、8月18日(土)に延期され豊原会館にて開催されました。



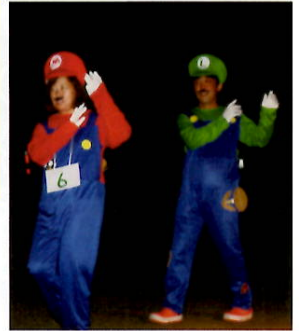
午後7時頃より太鼓の準備や会場のライトアップが進み、多くの提灯が飾られた会場は午後7時30分頃には地域の人で大賑わいになり、始めに子供盆踊りが始まりました。親御さんのアイデアと手作りの仮装、「これ全部段ボールで作ったの」と笑顔のお母さん。そんな力作の衣装に身を包んで皆さん可愛らしく踊っていました。

午後8時を過ぎた頃には大人の部が始まり、やぐらの上



アイデアこらした
力作ぞろいの衣装は
お母さんの愛情いっぱい!

豊原仮装盆踊り



では太鼓の音が響き、多くの仮装が出揃いました。中でもひととき目をひいたのが「ひまわり会」の皆さん、毎年大勢が参加され、元気が会場を大いに盛りあげてくれました。

また、大型テントでは酪青研が出店しビールやジュース、焼き鳥などを販売し、来場者を温かく迎えてくれました。

子供の部・大人の部とも甲乙つけがたい衣装で、終始華やかなムードで幕を閉じた盆踊りとなりました。



豊原開拓記念祭

世代を超えても心はひとつ、 ともにつなげよう伝統のお祭り

短い夏を彩る恒例の豊原開拓記念祭が好天に恵まれ、8月20日(月)賑やかに開催されました。



豊原地区床丹第2神社にて、社前と記念碑前での例大祭と開拓記念祭のご祭儀が執り行われました。その後、神社より保育園児の神輿を先頭に小学生、大人の神輿3基が「わっしょい、わっしょい」と元気に声をあげ、豊原会館前に到着。

会館横に仮設ステージや焼肉が用意され、大型テントでは酪青研による出店があり、ク





レープやかき氷などが用意されました。ほどなく豊原のちびっ子太鼓が始まり、その後、久保連合会長、曾根町長の挨拶、小湊組合長が乾杯の音頭を執られました。

小中学生の太鼓演奏が行われる最中に獅子舞も出現、会場は笑い声に包まれました。焼肉を囲みながらカラオケやバンド演奏などに耳を傾け、お酒をいただきながら「2番草は天気が良ければ良いけどな…」など収穫前のひと時を過ごしました。

豊原地区の青年たちによる太鼓演奏が始まり、豪快な太鼓の音が会場に響き渡りました。最後に毎年恒例のビンゴゲームが行われ、大歓声の中、幕を閉じました。

また、豊原開拓記念祭の子供相撲が前日の8月19日(日)に豊原地区床丹第2神社で行われ、保育園児、小学生、中学生の3部門に分かれての熱い戦いを繰り広げ観客を沸かせました。

アイディア満載、楽しさ満載 今年も盛大に開催しました！

美原会館前D型にて美原仮装盆踊り大会が8月16日(木)盛大に開催され、大勢の家族連れや子供たちで賑わいました。



手作り感いっぱいの衣装で踊る子供たちに会場中が和やかに



雨の影響もあり、D型での開催となりましたが、時間になる頃にはたくさんの方々が集まり無事に開催となりました。子供の部、大人の部の2部に分かれ、それぞれ趣向の凝らした衣装に身を包み、太鼓に合わせてやぐらを囲み踊りました。

子供の部が始まり、親御さんによる手作りの衣装に身をまとい、仮装をした子供たち。太鼓の音とともに盆踊りを披露する子供たちの愛くるしい姿に、会場中が和やかな雰囲気。

また、会場内は地域の若者が主体となり、焼き鳥や焼きそば、ビールなどが販売され、額に汗を浮かべながら振る舞い、訪れた人たちと微笑ましく話している姿が見られました。

子供の部の表彰が終り、大人の部が始まりました。どの参加者もそれぞれ工夫した格好で楽しく踊っていました。



美原仮装盆踊り



今年の美原の仮装はかなり強烈で
インパクトが強過ぎてます！



した。
「へこ&りゅうちえる」、auでおなじみの「三太郎」、バブリーな格好をした2人組など、時間をかけて作られたアイデア溢れる仮装が見られ、盆踊りに賭ける情熱が伝わりました。
全ての踊りが終わると個人の部、団体の部の表彰が行われました。その後、皆で記念撮影して終始賑やかなムードで幕を閉じました。参加された皆さんお疲れさまでした。



暑さに負けず元気にお神輿、 にぎやかな祭りを楽しむ

20日(月)美原社務所前にて開催されました。
青空がいつばいに広がる暑い中、美原権現祭が8月



の表情。

子供たちは旧美原小学校に集まり準備を開始。法被とハチマキを身にまとい、やる気充分の子供たち。お神輿は2基あり、保行園児から小学校低学年までと、小学校中学年から高学年までと二手に分かれて、それぞれ神輿を担ぎ、旧美原小学校から美原神社へ向け、権現祭を盛り上げます。晴天の中でのお神輿ともあり、額に汗を浮かべながらも、笛の音に合わせて掛け声を出し、美原神社に無事奉納しました。

お神輿担ぎを終えた後は、「乗馬体験コーナー」に移り、大人たちに手綱を引いてもらい、子供たちは乗馬を楽しみました。中には不安気な子もいましたが、乗馬が終わると笑顔いつぱ



汗をかきながらも笑顔で、懸命に神輿を担ぐ子供たち。お祭り気分最高です!



始めはこわごと乗馬していた子もなれるとご覧のように笑顔満開!





お昼を迎えたところで、炭火を囲んで焼き肉がスタート。ステージでは美原子童太鼓の演奏が始まりました。圧巻の太鼓の演奏に会場は盛り上がりました。次に美原踊りの会による息の合った舞踊の披露。3人の美しい舞踊により会場中が引き込まれていました。

最後はお菓子や豪華景品が当たるビンゴ大会が行われ、大人から子供まで皆で盛り上がりました。おいしい焼肉に舌つみをうちながら、地域の親睦を図り、美原権現祭が幕を閉じました。



地域がひとつになって 「広がる絆の輪」

富岡地区の大イベント「富岡ふるさと祭り」が8月17日(金)に開催されました。



千葉実行委員長の乾杯の音頭で始めました

午後7時を過ぎた頃には若い人を中心に準備が着々と進み、午後8時頃には地区の皆さんや地域にゆかりのある方が次々と集い、会場は大賑わいとなりました。

お盆で帰省している家族や仲間たちと、近況やお孫さんの話をしたりと、短い夏の夜をビールを片手に焼き鳥や焼肉を囲み楽しみました。

お腹も満たされたところで、小学生以下を対象にした「お菓子袋詰め」が行われ、我先にとお菓子を袋に詰め込む子供たち。

また、全員参加の「ビンゴゲーム」、「じゃんけん大会」が行われ豪華な景品を獲得されています。



「富岡ふるさと祭り」を若い実行委員の人たちが支えています



富岡ふるさと祭り



子供たちによるお菓子のつめ放題！お母さんたちのほうが夢中？ですね！



▲会場のみんなどじゃんけん大会、優勝者には豪華景品



▲見事ビンゴになりました！



た。会場も盛り上がりがあったところで、最後に恒例の「餅まき」をトラクターのバケットの上から豪快に撒ぎ、大盛況のうち幕を閉じました。
 今年は強風のため屋内での開催となりましたが、来年は良い天気に恵まれ、盆踊りも開催できることを楽しみにしています。



たくさんの餅と一緒にお菓子もまかれ、大人も子供も夢中で拾いました



農林水産省および 国会議員への中央要請

平成31年度農林水産予算概算要求に係る意見交換並びに
国会議員への中央要請を実施



中春別酪農対策協議会（伊藤一吉会長）による農政運
動を、7月31日（火）～8月2日（木）にかけて実施いたしまし
た。

農業予算に向けた各種対策への提言・要望

平成31年度農業関係予算 に対する農業予算に向けた各
に係る中央要請運動とし 種対策への提言や要望など
て、8月概算要求・要望に を、限られた時間の中で精

飼料生産型酪農経営支援事業、 中山間事業の継続を国会議員 へ要請

力的に実施いたしました。
農林水産省生産局との意
見交換では、伊藤会長より
当地区の近況や概要につい
て説明を行い、飼料生産型
酪農経営支援事業および中
山間事業の継続や、農業と
漁業が将来にわたり共存共

栄しうる社会を構築するべ
く、国営かんがい排水事業
の予算確保、畜産クラス
ター関連事業の継続、新規
就農担い手対策の円滑な事
業取り進め、草地整備の予
算確保などについて意見交
換をおこないました。

国会議員への要請につい
ては、道内選出の衆議院議
員および参議院議員を中心
に要請をおこない、特に飼
料生産型酪農経営支
援事業や中山間事業
の継続について要請
をいたしました。

- （要請者）
中春別酪農対策協議
会
会長 伊藤 一吉
副会長 高橋 真悟
副会長 浮川 優
JA中春別
副組合長理事
西川 寛稔
事務局
水谷 隆行
計5人

学校法人工藤学園愛犬美容看護専門学校と
JA中春別で就農就業支援連携協定を締結

畜産実習を通して、地域の労働力確保へ

学校法人工藤学園愛犬美容看護専門学校(札幌市)との就農就業支援連携協定調印式を
7月30日(月)当JAにて行いました。



当JAの担い手確保やJA中春別ヘルパー利用組合・中春別営農サポート協議会の労働力確保の拡充と、当該校の学生進路の選択肢を広げたい双方の目的が一致し、今回の就農就業支援連携協定を締結する運びとなりました。就農就業支援連携協定は、平成26年

度の茨城県鯉淵学園農業栄養専門学校、平成27年度の東京コミュニケーションアーティ専門学校に続き今回が3校目となります。当日は、当該校から工藤校長、中川事務長、濱本教諭、若山教諭、当JAからは小湊組合長、西川副組合長、佐藤専務、大山常務が

▲双方の思惑が一致し、就農就業支援連携協定を締結しました



出席し開催されました。西川副組合長より開式の辞が述べられ、愛犬美容看護専門学校の工藤校長および当JA小湊組合長からそれぞれ挨拶が述べられました。

産業動物の現場でも動物看護師が活躍できる

当該校は札幌市中央区に拠点を置き、昭和53年創立後、トリマー・動物看護師の専門学校として3000



人余りの学生を全国各地へ送り出しております。昨年実施しました動物看護師学び直し事業(株なかしゅんべつ未来牧場にて畜産実習)を通じて、産業動物の現場でも多くの動物看護師が活躍できる業界だという事が認識され、「産業動物」の授業カリキュラムに畜産実習が導入をされました。双方の概要説明後に協定書へサインがおこなわれ、当該校の中川事務長より閉式の辞が述べられました。今後は、お互いに情報交換をおこない、就職説明会への参加や畜産実習などを通じて地域の労働力確保へと努めてまいります。

農林水産省・J A全中・J A北海道中央会 担当者酪農実習受け入れ

実習を通じて、 これからの日本農業に向けて

**酪農現場の実態把握と
理解を深めることを目的**

根釧地区青年部協議会で
は、酪農実習や意見交換
会、視察などを通じて酪農
現場の実態把握及び理解を
深めてもらうことを目的
に、農林水産省・J A全中・
J A北海道中央会担当者の
受け入れを7月24日(火)～27
日(金)実施し、当青年部では
野矢貴志宅にて受け入れを
行いました。

今回はJ A北海道中央会
農政部農政企画課より小
松龍太(こまつりゅうた)
氏を受け入れました。

**青年部活動に参加し、
親睦を図る**

25日(水)の夜は同氏を招
き、ロールバックメッセージ
標語の模り作成、消費拡大



グッズの詰め合わせ作業、
青年部オリジナルハンバー
グドッグの調理・試食会に

に参加していただきまし
た。梱包後には参加した青



**梱包作業に
参加**

参加していた
だき、作業の
合間にお互い
に親睦も深
め、あわただ
しくも充実し
た時間を過ご
しました。

26日(木)午
前中には、(株)
べつかい乳業
興社にて青年
部・女性部
合同オリジナ
ルお中元セットの梱包作業

年部員との昼
食を交えな
がら交流を
図り、昼食
後は地区内
において、最
先のロボット
牛舎を視察
しました。そ
の後、夕方の
作業を終えて
から中標津町
へと移動をし、米管者や受
入盟友、根釧地区青協役員
での意見交換
会に参加しま
した。
2泊3日の酪
農実習・青年
部活動を通じ
て、小松氏か
ら「自分も部
員さんと同じ
仕事と青年部
活動を体験し
たことによ
り、忙しさを
青年部活動の
大切さを改め
て考えさせら
れました」と
話していただ



きました。
当青年部としても今回の
受け入れはJ A北海道中央
会の職員ということで、普
段は接点のない中央会組織
について考える良い機会と
なりました。お互い立場は
違いますが、これからの日
本の農業を牽引していく存
在という点では、同士であ
ることから、今後も良い意
味で刺激しあい、切磋琢磨
してお互いを高めていけた
らと思います。



長蛇の列ができるほどの賑わいを見せていました

無料配布したのは「べつ
かいの牛乳屋さん」「べつ
かいのコーヒー牛乳屋さん」
「べつかいのアイス屋さん」
とミルクランドグッズ。前
日までの悪天候により開催
の心配もされておりましたが、当日は天候にも恵まれ、
晴天の中での開催となりました。お盆休みともあり、会

夏の牛乳大作戦

消費拡大の呼び掛け、別海町乳製品をPR!

場は多くの観光客で賑わいを見せており、今回、両青年部のFace bookを活用した、イベント周知の効果もあり、沢山の来場者が訪れました。青年部員の声



JA道東あさひ青年部とJA中春別青年部の2JA合同での消費拡大運動として、8月12日(日)牛乳の無料配布を行い、別海町の乳製品をPRする「夏の牛乳大作戦」が、道の駅摩周温泉と野付ネイチャーセンターの2会場にて開催されました。

を皮切りに来場者で長蛇の列ができており、配布開始からわずか30分ほどで全ての配布が終了しました。乳製品を口にした来場者からは「町おこしに頑張る姿を



消費拡大グッズを配る青年部員

応援します!」「日本らしさを感じさせる乳製品を海外にも売り込んで欲しい」と激励の声をいただき、別海町の乳製品の美味しさや青年部活動のPRができました。

今回、道の駅摩周温泉では、JA摩周湖青年部より、数人にご協力をしていただき、当日はJA摩周湖・川口組合長、阿部参事が会場へ応援に来てくださり、摩周メロンとエゾシカバーガーの差し入れをいただきました。大変おしく疲れも吹っ飛びました。ありが



摩周メロンとエゾシカバーガーを片手に記念撮影

とうございました。たくさんの方の来場者や普段交流することのないJA摩周湖青年部とも交流でき、大変貴重な時間となりました。なにより、主催者である私たち青年部が心から楽しんで牛乳の配布を行うことができました。次年度以降も、更なる消費拡大運動を図り、消費者の皆さんと交流を深められたらと思います。

今回もアンケートを実施しており、抽選でアイスクリームセットのプレゼントをします。たくさんのご協力ありがとうございました。

THE別海MILK!牛乳がすべてを育てる

最優秀賞 中春別中学校2年 藤岡獅子丸君
中春別中学校1年 小原 直海君

青年部ロールパックメッセージ標語入賞者表彰

青年部では、4月から5月にかけて募集しましたロールパックメッセージ標語の入賞者表彰式を8月28日(火)中春別小学校、8月30日(木)中春別中学校で最優秀賞2人、優秀賞4人それぞれ行いました。

最優秀賞「THE別海MILK!牛乳がすべてを育てる」
中春別中学校2年 藤岡獅子丸
中春別中学校1年 小原直海



優秀賞「おいしくってたまらないぎょうにゆうのんでね」

中春別小学校1年 むらやまはるま
「のめばのむほどたまらない!おいしいミルクパワー!」
中春別小学校2年 牧野ゆめか

「おいしい牛乳さあどっこぞ」
中春別小学校4年 花岡もも



「みんなで飲もう世界一の別海牛乳!」
中春別小学校6年 島影奏音

表彰は野矢青年部長、山田副部長、片岡副部長、藤倉理事が行いました。入賞者には図書カードが贈呈され、ご協力いただいた、小学校、中学校にはミルクとシッパを配布しました。最優秀賞の作品はなかしゆんべつ未来牧場全酪連育成センターにて秋に作成予定のロールパックメッセージの標語となります。たくさんのご協力ありがとうございました。



女性部の活動

素敵な作品ができあがりました

鑑賞炭の作品作り



好きな炭をたくさん選びます

阿部工房にて8月9日(木)趣味の会・園芸グループ・木の実部会で鑑賞炭の作品作りを行いました。

しっかりと乾燥させたまつぼっくり、くり、くるみなどを缶の容器に入れてカセットコンロで強火にかけます。煙が出なくなると良く冷やせば完成です。ドライフラワー、唐辛子、シイタケなどアイディア次第で様々なものを炭にできるそうです。

炭にしたものはとてもおもしろく、大切に扱わないとすぐに壊れてしまいます。出来上がった炭をカゴに丁寧に乗せていき観賞炭の作品ができあがりました。

個性の光る作品ができあがりました





多くの実習生を受け入れている(株)なかしゅんべつ未来牧場へ、8月21日(火)実習生の取材をしてきました。

当日は大阪高校の学生が1人と、日本獣医生命科学大学の学生3人が実習をしていました。大阪高校の学生は7月20日(金)から8月27日(月)までの1カ月程、日本

搾乳も2、3日もすれば作業手順がどのようにすれば良いか分かるようになったのと、少しずつ牛の行動が理解できるようになり、スムーズに作業ができるようになっていきます。

また、実習の期間中に子牛が生まれ、その名付け親になったりと思わぬ実習の思い出が増えたりしているようです。

牧場の研修生や従業員の方に様々な酪農の事を教わりながら、北の大地での酪農研修が実習生の糧となることを期待しています。

(株)なかしゅんべつ未来牧場

研修を通して酪農の知識と技術を習得する

獣医生命科学大学の学生は3人で8月17日(金)から8月24日(金)の8日間の期間で実習を行っていました。学生たちは(株)なかしゅんべつ未来牧場の研修棟に宿泊し、より酪農を身近に感じる事のできる生活をしています。

実習内容としては、哺乳や給餌、牛舎の清掃に搾乳といった酪農の仕事の中で基礎となる業務をしている中、始めは手間取っていた



豊原地区の青野さんより毎年恒例の「豊原保育園イチゴ狩り」の様子を、写真と一緒に寄稿していただきましたので掲載いたします。

豊原保育園
イチゴ狩り

今年もおいしい
イチゴが採れました

豊原へぎ地保育園では7月12日にイチゴ狩り遠足が開催されました。

今年で23年目を迎えます



4kmの道のりを頑張って歩く園児たち



丹誠込めて育てたイチゴをいっぱい採る

た。品種は「けんたろう」で、甘さも栽培も安定した北海道で人気の大粒イチゴです。

約4kmの道のりを頑張って歩いてきた園児の皆さん、昨年よりかなり早いペースで到着!!日ごろの練習の成果が出ました。人数は園児1人と園児の弟妹たち、



べ、フルーツポンチやルバーブジャム(フキに似たジャムの木)と、イチゴジャムをクラッ

父母と先生を含めた総勢31人が参加をし、園児たちと一緒に遠足から参加をする人もいて、大いに盛り上がりしていました。イチゴを上手に摘む園児たちの姿は可愛らしく、大きなイチゴを見つけた園児はみんなに誇らしく見せていました。前日まで雨続きで少し足元が柔らかい状態でしたが、慣れてくるとどんどんパック一杯に詰めていました。

先生3人でおそろいのイチゴイメージのTシャツが、とても印象的で励まされました。その後、ホールに集まり、昼食とデザートを食べました。前日のうちにお母さんたちに作っていただいたジャムをパンに塗って食



自家菜園ならではのイチゴ料理をご紹介します。と思います。

イチゴのへたと葉を天ぷらにします。小麦粉と片栗粉を1対1の割合で衣を作って揚げます。コッはやわらかめの葉を、へたは少々イチゴの実を残してカットします。実の甘酸っぱさが残ったへたの味わいは意外なおいしいさ。もうひとつはイチゴの葉を干してイチゴ茶にします。実を収穫し終えた後の葉をよく洗い、株ごと日陰で干すだけ。ティーパック、だしパックに詰めてイチゴ茶を飲んでみて下さい。

爽快!

春別川 イカダ下り

イカダ下りで自然に親しみ夏を堪能



別海町自然に親しむ会主催による春別川イカダ下りが8月5日(日)開催されました。

晴天の中、絶好のイカダ下り日和ともあり、子供たちからは「早く乗りたい」という気持ちも伝わってきました。イカダ下りの前には川周辺のゴミ拾いを行い、参加者でゴミを拾いあつと

いう間にキレイになりました。

ゴミ拾いを終え、大人たちが各イカダを川に移動させ、子供たちは次々イカダに乗り込みました。不安そうなお母さんや、楽しくて出発が待ち遠しい子供もいました。花火の合図とともに順番にイカダが動き始め、春別川のイカダ下りがスタート。

大きなカーブや木々に囲まれた約1kmほどあるコースを進み、参加者からは終始たくさんの笑顔が見られました。乗っているだけでは物足りなく、川に飛び込む元気な子供。イカダを引っ張るお父さんの汗は輝いておりました。全身で夏を感じ、大人も子供も暑さを忘れてイカダ下りを堪能。アクティブで爽快な夏らしく楽しい思い出になったのではないのでしょうか。

イカダ下りを終えた後は、ゴール地点の広場にて焼肉を堪能。焼肉を囲み、賑やかな雰囲気の中、家族や友達と交流を図りました。



途中でフラダンスや美原童子童太鼓による力強い演奏、空手の演武が行われました。牛乳の早飲みやビンゴ大会、最後に抽選会が行わ



れ、大人から子供まで皆で盛り上がりました。地域の親睦も深まり、春別川イカダ下りは大盛況の中、幕を閉じました。



根室農業改良普及センター
営農対策情報

営農改善資料発行!

①



各農場に配布している資料は、将来構想の考え方、労働生産性を考慮した農場全体のシステムの方、投資するにあたって事前に準備しておくことについて掲載しています。今月から計4回にわたり概要と活用事例の紹介をします。

第1章 将来について考える

① **目指す姿・ビジョンを明確にする**

将来「どのような暮らし」を望んでいるのか「どんな酪農のスタイルをめざすか」を話し合います。農場の目標を考えると、地域や情勢に対する将来の見通し（ビジョン）も併せて検討します。

**家族で話し合おう
我が家の未来**

表1 「私」のライフサイクルを踏まえた農業経営の検討

「私」の年齢	労働力	家計費	投資タイミング	備考
20代 後継者として育つ時期	比較的充実	余裕がある	○～◎	次の経営展開を見据えた目標づくりが必要 (経営移譲時期の検討、世代間のルールづくり)
30～40代 経営者として活躍する時期	充実	余裕があるが要貯蓄	◎～○	投資の検討をすべきタイミング (経営移譲、施設・機械投資) 教育資金の計画的な貯蓄が必要
50代 次の世代を考える時期	若干低下	厳しい	×	家計費が多数年にわたり膨大になる時期。貯蓄を活用した運営が必要 (ここに来てからの対応では遅い!)

③ **ギャップの整理**

現状を把握したら、わが家

② **現状を把握する**

農場の現状把握は、施設機械の状況とあわせて、家族のライフサイクルを捉えることが必要です(表1)。

投資のタイミングは、金銭的にも労働力的にも余裕があるところが望ましいです。本資料には「農場における現状把握のためのチェックリスト」を掲載していますので、ぜひ活用下さい。

④ **どんな選択肢・解決策があるか**

表2に根室管内の代表的な

「めざす姿」と「現状」の違いを整理(図1)して、課題を洗い出し、取り組むべき優先順位を考えましょう。

課題を解決するためには、投資や外部委託を検討することも出てくると思います。そうすると、先を見据えた準備が必要です。このような場合は、長期的なお金の流れを見やすい形で描いてみるとイメージしやすくなります。

本資料では、農場全体の流れを意識した具体的な準備事例や投資計画・ライフプランが一目で分かるようなシートを掲載していますので、二読ください。

図1 ギャップの整理例

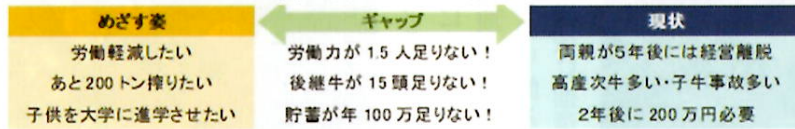


表2 代表的な酪農経営方式H28年5月根室管内の酪農用牛近代化計画より集計

方式名 (特徴となる取組の概要)	飼養形態				生産性指標				経営			
	経産牛頭数	外部化	給与方式	放牧利用	経産牛1頭当たり乳量	作付面積	外部化(種類)	総労働時間(1人1日あたり)	就業人数	粗収入	経営費	産業所得
兼留 (集約放牧)	60	△/△ 公共牧場	分離給与	集約	kg	ha	個別完結	4,088 (2,000)	2.0	4,600	3,530	1,070
兼留	80	△/△ 公共牧場	分離給与	部分放牧	kg	ha	コトラク	5,255 (2,000)	2.5	7,580	5,850	1,730
フリーストール (ミルック・ハーフ)	120	△/△ 育成預託	TMR	舎飼	kg	ha	コトラク	5,083 (2,000)	2.5	10,670	7,670	3,000
フリーストール (搾乳・ロット)	120	△/△ 育成預託	TMR	舎飼	kg	ha	コトラク	2,652 (1,800)	2.0	13,170	10,070	3,100
フリーストール (法人経営)	400	△/△ 公共牧場	TMR	舎飼	kg	ha	個別完結	18,495 (2,000)	9.2	36,630	30,510	6,120

酪農経営方式をまとめました。将来どのような経営形態を選択していくかによって、必要な施設・機械整備・労働力は変わってきます。

本資料では経営形態毎に、特徴・留意点・おおよその建設費を提示し、付帯施設の乾乳牛舎や粗飼料生産及び育成牛の自家生産管理や外部委託の選択肢について紹介しています。

将来を考える一助にして頂ければ幸いです。

つづく



仲間と過ごした2泊3日は 充実した思い出の旅になりました

中春別農協年金友の会では、札幌・洞爺湖方面に7月22日(日)～24日(火)の2泊3日、年金友の会のメンバー18人で旅行に行ってきました。

1日目

小雨が降る中、早朝から中標津空港に集合して、新千歳空港に出発しました。移動はすべてバスで、ガイドさんのユーモア溢れる話を聞きつつ、札幌市内に移動しサッポロファクトリービヤケラーにて昼食をとりました。昼食後、ニトリ文化

ホールにて劇団四季のミュージカル「サウンド・オブ・ミュージック」と、札幌ドームにて「日本ハムファイターズ(ソフトバンク戦)野球観戦」を参加者二手に分かれて行動しました。

劇団四季では、第二次世界大戦直前のオーストリアを舞台に、すばらしい音楽

や感動する物語で老若男女楽しめる舞台でした。ミュージカルを終えると家族の絆、平和の尊さを改めて気づかされました。野球観戦では、序盤はリードしていたが7回表で同点となり、どつちに転ぶかわからない状況でハラハラしながらの観戦となりました。バスの時間も近くなってきたため、参加者一同、結果はニュースで知ろうと意見をまとめたところで、緊迫した8回表



同点の場面で観戦は終了しました。試合結果は7対5で勝利したとの情報を聞き皆喜んでいました。夕食は居酒屋にて行い、1日目を振りかえりつつ皆で話し合い、ルートイン札幌中央に泊まり1日目を終了しました。

2日目

早朝からバスで1時間30分かけて登別マリンパークニクスに移動。ペンギンの行進やイルカのショーなど、普段見られない動物をたくさん見ることが出来ました。マリンパークニクス内にて昼食をとり、洞爺湖に移動して有珠山ロープウェイに乗車。天候に恵まれ、昭和新山や洞爺湖を一面見渡せました。ロープウェイ終了後、火



山科学館に行き、有珠山の歴史や被害の実態や防災などを写真や映像で学びました。西山火口散策路では2000年に有珠山噴火でできた火口を歩くと、被害を受けた建物などを間近で見ることができ、改めて自然の驚異を感じました。2日目は1日歩き通したので、宿泊先の洞爺サンパレス&スパにて温泉に浸かって疲れを取り、夕食会場ではカラオケをしながら食事とお酒を堪能しました。午後9時頃には洞爺湖ロングラン花火大会があり、ロビーや客室から花火を鑑賞して2日

3日目

目を終了しました。最終日は日差しが強く暑い中、洞爺湖温泉の近くの「たかしな果樹園」にてさくらんぼ狩りを行いました。事前情報では、旅行前まで雨による天候不順で育成が良くないという事で心配していました。予想を超える実りで食べても甘くおいしく、みんな喜んでいる様子でした。昼食は「しこつ湖鶴雅リゾート水の舘」にて豪華なランチビュッフェを堪能し、最後の行程として、「えこりん村」で色鮮やかな植物を鑑賞しました。特に「とまとの森」では、1株でものごい量のトマトが生っていて、皆驚きの表情を浮かべていました。

楽しい旅も終わり、新千歳空港を出発し中標津空港に到着しました。1日目2日目は丁度良い気温で過ごしやすく、3日目は暑かったものの、皆さん体調を崩す事もなく無事終了となることができました。また来年もたくさんのご参加をお待ちしております。

新会員も加入し、より楽しい 交流会となりました

中春別農協年金友の会（高橋昌晴会長）では、8月23日（木）に毎年お世話になっていきます中標津町のマルエー温泉俵橋にて、44人の参加のもと、お楽しみ会を開催しました。



始めに高橋会長挨拶

お楽しみ会は一番多く会員が参加する行事です。お寿司や鍋料理を堪能し、

ジュースやお酒を持って久々に会う仲間と交流をし、また、新しい仲間が増えたのでより一層にぎやかなお楽しみ会となりました。



素敵な歌を披露していただきました



余興ではカラオケとビンゴゲームを行いました。カラオケでは皆さん自慢の歌声を披露して、会場を盛り上げていただきました。ビ

ンゴゲームでは全員に景品が当たるため、ビンゴする度にみんな大いに盛り上がりました。ビンゴしていたのに気づかなかつた方や、序盤でリーチになり「6番引いて」との声があり、みんな注目していましたが、違う番号でビンゴして笑いを誘っていました。

今回、都合が悪く参加できなかつた方は、11月29日（木）にお楽しみ会を開催する予定です。ぜひご参加ください。



▲同時ビンゴのため誰が先に景品をもらうかじゃんけん対決

●【経営科】乳加工品製造・販売!

今年度より、酪農経営科ではカリキュラムにおいて乳製品の製造実習と販売の充実化に取り組んでいます。現在、乳加工の原料乳を部分委託契約によりチーズ用として若葉牧場より、ヨーグルト用としてたんぼぼ牧場より購入し、良質の放牧乳によるチーズ製造とジャージ-乳の特性を生かした濃厚でクリーミーなヨーグルト製造をおこなっています。また、製造数量に限りがありますが、地域のイベントを中心にご提供させていただいております。



販売実習の様子 酪農試験場公開でー



別海マルシェ

8月1日(水)には酪農試験場での公開デーにて、また、8月4日(土)には別海マルシェにて農産物と合わせてチーズ、ヨーグルトの販売実習をおこないました。今後も地域のチーズ生産者や酪農家の奥様方との交流を深め、良質乳加工品の提供をとおして教育活動の幅を広げていく予定です。

●【経営科】日本学校農業クラブ全国大会 鹿児島大会へ出場権獲得!!!

日本学校農業クラブ北海道連盟全道技術競技大会が帯広農業高校を当番校として行われ、本校から農業鑑定競技(畜産コース)に5人が、農業情報処理競技に1人が、また家畜審査競技には6名が出場しました。家畜審査競技肉牛の部で1年生の小林洗翔さんが最優秀賞となり、10月に鹿児島県で開催される全国大会への出場権を獲得しました。小林さんは「これから全国大会に向けて審査練習を重ねます」と力強く語っていました。本大会家畜審査競技に向けての学習の場として、研修牧場をはじめ地域の農場にもご協力いただきました。誠にありがとうございました。



大会に参加した生徒

【全道技術競技大会入賞者名】

家畜審査競技(肉牛の部)

最優秀賞 小林 洗翔 (1年)

家畜審査競技(乳牛の部)

優秀賞 山下 舞華 (1年)

●【専攻科】北矢ケレス友の会圃場検討会

8月1日(水)の圃場検討会に学生2人が参加しました。この圃場検討会は、専攻科後援会会長である石田さんや会員の農家さんが草地管理に取り組んでいる草地を見学し、牧草の生育等を観察する研修会です。



圃場検討会の様子

最初に新倉さんのチモシーとエンバクを混播し、初年目収量確保と雑草防除を目的とした草地と、1年生のイタリアンライグラスの栽培をしている草地を、福本さんの圃場では、2014年に播種し1年寝かせた草地のシバムギ対策と更新技術について、石田さんの圃場ではフェストロリウムとチモシーの新品種試験栽培の見学をさせていただきました。参加した学生は、「どのように雑草を抑制するのか試験的に栽培しているものや、新品種の有利性を実感し、自家での今後の草地管理に取り入れてみたいですね」と意気込みを話していました。

●【専攻科】修了研究中間発表会只今準備中

8月24日(金)に専攻科2年目学生6人による修了研究中間発表会が予定されています。学生たちは研究テーマの設定、調査・実験、データの収集・解析・結果について、指導教諭からの指摘や、アドバイスなど受け、資料の作成をしています。

なお、修了研究発表会は11月28日(水)に予定されています。

●【専攻科】第1回酪農技術研修会開催

8月21日(火)に第1回酪農技術現地研修会が行われました。この研修会は、根室管内の農業関連施設の視察を通して今後の自家経営に活かすための研修会です。



牧場見学の様子

今回は、mosir/小林牧場様と(株)明治西春別工場様を見学させていただきました。小林牧場では「1人で出来る牧場」をコンセプトに、ロボット牛舎の説明を、(株)明治西春別工場様では工場での集乳後の製造製品の紹介後に、工場内部とバター製造の様子を見学させていただきました。

学生からは「(株)明治様では西春別工場だけが市販のバターを製造し全国に流通販売し、我々も生乳を高品質で届ける努力をしなければならぬと再認識できた」との感想がありました。非常に有意義な研修となり、ご協力いただいた企業の皆様ありがとうございました。

JAグループ通信

JAグループの連合会・中央会の活動内容を紹介します。

JA北海道大会決議事項の実践やその時々の特ピックスなど、組合員の皆様に定期的にお伝えします。

各団体の詳しい取り組み内容はWEBサイトをご覧ください。

JA北海道中央会

11月開催の第29回JA北海道大会に向けて組合員の声を反映させるため、9月末を期限とする組織討議を実施します。

原案には、前回大会で掲げたJAグループの将来ビジョン「北海道550万人と共に創る『力強い農業』と『豊かな魅力ある農村』の実現」に向けて、農業所得増大やサポーター1550万人づくりの継続実施などを盛り込むほか、重要性を増す「協同組合の価値と実践」を新たに加えております。

また、各JAにおける組織討議に加えて、組合員の皆さんから直接ご意見を提出いただけるよう、意見提出様式を公開しておりますので、ご提案を賜りますようお願い申し上げます。

第29回
JA北海道大会
組合員組織討議資料

北海道550万人と共に創る
「力強い農業」と「豊かな魅力ある農村」



平成30年8月
JA北海道大会実行委員会
(事務局：JA北海道中央会)

JA北海道信連

8月に、JAとうや湖などの協力をいただき、小学生の親子を対象とした「旬食カレッジin洞爺湖」を開催しました。じゃがいもの収穫体験、地元産じゃがいもやミニトマト等を使った料理教室、JAによる講演等を実施し、道産野菜のおいしさや栽培のこだわりなど、食や農の大切さを伝えることができました。

参加者には、「食に対する関心が高まり勉強になった」「また参加したい」など好評でした。



ホクレン

北海道産牛肉を炭火焼きで楽しんでもらう「第2回北海道牛肉まつりinさっぽろ」が7月29日から8月1日の4日間、札幌パークホテル駐車場特設会場で開催されました。このうち2日目の30日には「北海道産牛肉応援PR大使」でグルメタレントのアンジェラ佐藤さんが登場。

北海道庁とホクレンの若手職員計5人を相手に「天食い競争」に挑戦し、会場から大きな歓声があがりました。



JA共済連北海道

8月3日に札幌・共済ホールにて「全道LA・スマサポ大会」が開催され、平成29年度普及活動で優秀な成績を収められたLA22人と、スマイルサポーター15人が登壇し表彰されました。

JA共済では、これからも「3Q訪問活動」と「あんしんチェック（保障点検活動）」の実践を通じて組合員・地域利用者の信頼と期待に応え、「安心」と「満足」の提供に努めてまいります。



JA北海道厚生連

組合員ならびに地域住民の皆様様の生命と健康を守るため、本会事業の積極的な啓蒙推進を図ることを目的として、広報誌「すまいる」を発行しております。

年3回発行しており、様々な医療・健康情報を発信しております。

ホームページにもバックナンバーを掲載しておりますので、是非ご読ください。





生乳課情報

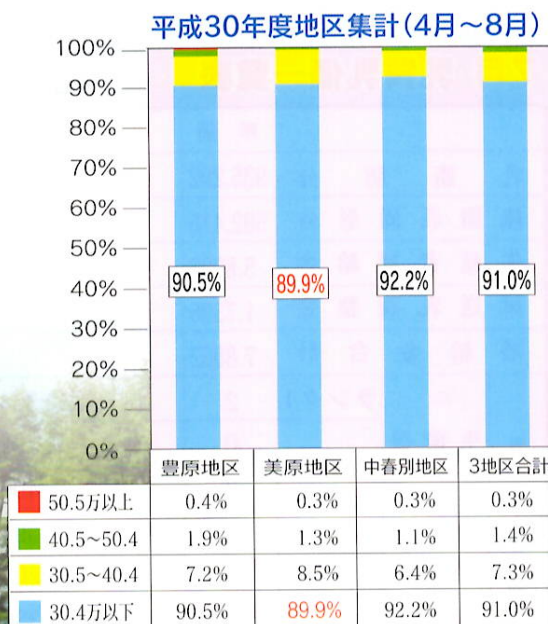
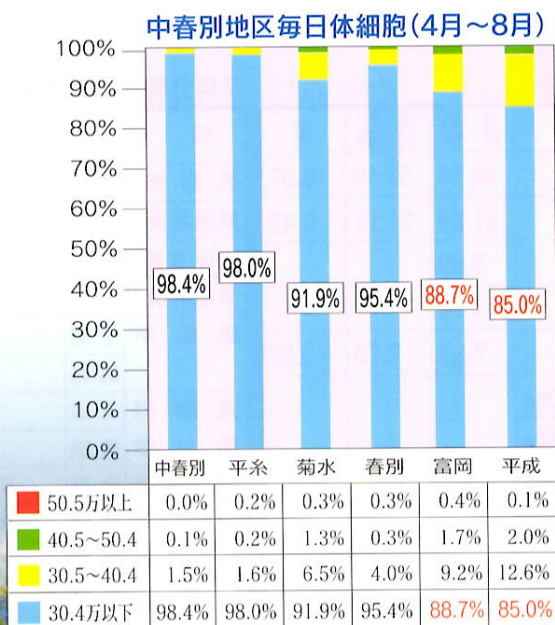
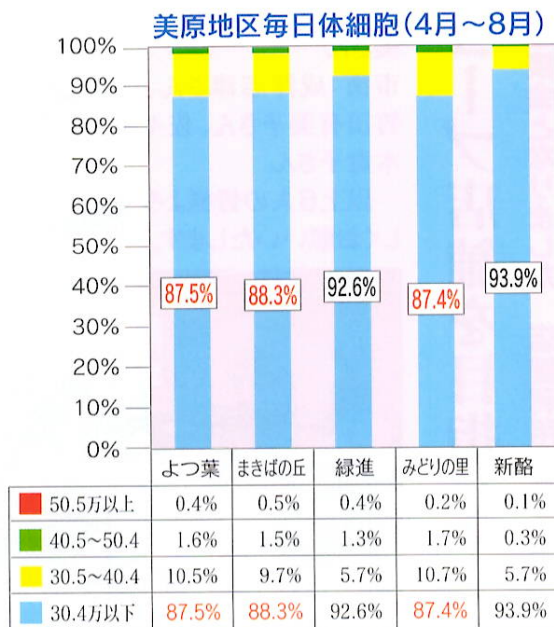
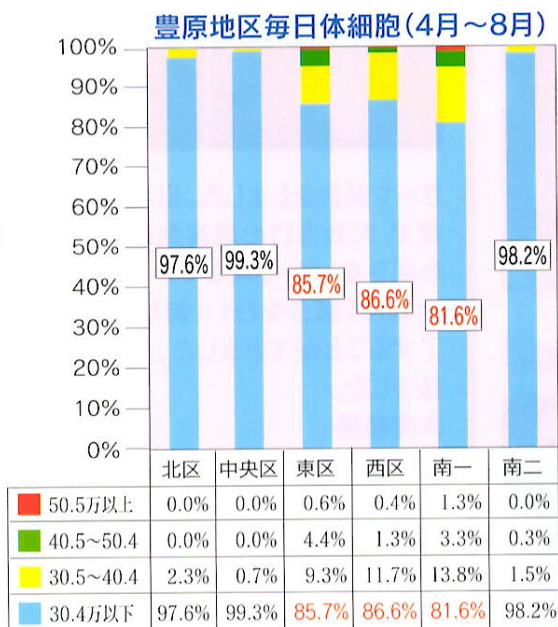
平成30年8月31日現在

生乳汚染事故を無くそう！

- 抗生物質混入事故……………JA中春別発生件数 **4**件 管内合計では**7**件です。
- 生菌による汚染事故……………JA中春別発生件数 0件 管内合計では**1**件です。
- 異物混入、加水、血乳による汚染事故…… JA中春別発生件数 0件 管内合計では**1**件です。
- 異臭、異常風味による汚染事故…………… JA中春別発生件数 0件 管内合計では0件です。

目指そう!体細胞下げて 塩味・渋みの抑えた美味しい牛乳!

良質生乳生産推進委員からの標語



今後の店舗経営に役立つ貴重な懇談会となりました 店舗利用者懇談会

みんなに愛されるAコープ店舗を目指し

平成30年度店舗利用者懇談会が8月2日(木)開催されました。

農協女性部より3人と市街地区の店舗利用者3人の方に、委嘱状が小湊組合長より手渡されました。また、ホクレン中標津支所殿崎考査役よりジョイライフ商品のパン、ミルク王国のアイスクリームの試食を交えた商品説明が行われました。

会議では今後の店舗運営にとって貴重な意見や要望などが出されました。

平成30年度委員

女性部：林幸枝さん・中村及子さん、篠田照美さん

市街：成澤志津さん、竹田有美子さん、佐々木貴子さん

以上6人の皆様よろしくお願いたします。



励まし合い、元気いっぱいプレー

第26回根室管内農協交流ゲートボール大会

別海町ファミリースポーツハウスで第26回根室管内農協交流ゲートボール大会が8月3日(金)行われました。

この大会の第1回目は20以上のチーム数がありました



ましたが、年々競技人口が減っていき、今年は8チーム60人の選手が参加となりました。中春別は人数が少なく、他のチームに混

ざって試合をしました。出場選手最高年齢は93歳で、大会当日の最高気温が28度と暑く、体調を崩さないか心配していましたが、皆さん終始元気良く試合を行い、何事も無く大会を無事終了することができました。参加者の皆様お疲れ様でした。

大会結果

チーム成績

優勝 東中(JA中標津)

準優勝 別海中央(JA道東あさひ別海支所)

3位 開陽(JA中標津)

7月 乳質乳価一覧表

(単位:円/)

7月分乳代支払単価

		単価	算出基礎	支払乳価	前年同期	差	
乳脂肪分		935.202		36.13	35.46	0.67	
無脂乳固形分		592.415		51.59	51.11	0.48	
生産者補給金		5.8908		5.89			
集送乳調整金		1.7395		1.74			
補給金合計		7.8062		7.63	7.70	-0.07	
乳質単価	生菌数	ランク1	2	322,334,911.0kg	3.64	3.64	0.00
			0	10,492,661.5kg			
			-3	406,851.0kg			
	体細胞数	ランク1	2	277,594,632.1kg			
		ランク2	1	28,204,880.1kg			
		ランク3	-2	6,330,105.6kg			
乳製品向原料確保奨励金					0.31	-0.31	
合計				98.99	98.22	0.77	

項目	単価(円)/(kg)%	
乳脂肪分①	36円13銭	
無脂乳固形分②	51円59銭	
生産者補給金③	5円89銭	
集送乳調整金④	1円74銭	
脂肪率	全道	3.86%
	農協	3.96%
無脂固形分率	全道	8.71%
	農協	8.68%
成分乳価①+②+③+④=⑤	全道	95円09銭
	農協	95円35銭
乳質乳価⑥	全道	3円71銭
	農協	3円71銭
乳代合計	全道	98円80銭
	農協	99円06銭
⑤+⑥	差異	0円26銭

議案

1. 平成30年度9月末棚卸実査の日程(案)について
2. (株)なかしゅんべつ未来牧場に係る農業経営基盤強化資金の貸付について
3. 農業競争力強化農地整備事業・草地畜産基盤整備事業(畜産担い手総合整備型)・再編整備事業豊原美原地区(施設投資)に係る事業計画について
4. 平成30営農年度財産造成に伴う資金の借入・貸付について
5. 平成30年度飼料生産型酪農経営支援事業について
6. 生乳受託販売規程の改正について

報告事項

1. 組合員の脱退について
2. 職員の退職について
3. 平成30年度6月末定期監査報告書について
4. (一社)北海道農協経営審査協会による内部審査報告書について
5. 第20回「宵の市」の終了について
6. 全酪連回転出資から出資金の振向けについて
7. 平成30年度釧路地区・根室管内農協監事協議会道外視察研修について
8. 平成30年度職員視察研修について
9. JAバンク北海道夏期特別推進運動夏のキャンペーンの実績について
10. 平成30年度JA共済コンプライアンス点検結果について
11. 平成30年度7月末営農関連実績について
12. 平成30年根室ホルスタイン共進会の成績について
13. 生乳補償互助会の支払いについて

協議事項

1. 第29回JA北海道大会への参加について
2. 第28回JA全国大会への参加について



組合員の広場



作品名「オードリー・ヘップバーン」竹田國男さん



作品名「オードリー・ヘップバーン」竹田國男さん

今月号の組合員の広場は「竹田國男」さんの作品を掲載いたしました。
組合員の広場では習字や俳句、短歌、絵画、写真など多数の作品を募集しております。営農振興課・久末までお気軽にご連絡ください。